

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記2

国立市立国立第七小学校

平成26年5月8日 NO.10 (110)



花ちゃん 「あ！オジャマジャクシ・・・。」

オー君 「ちがうよ！オタマジャクシだよ。花ちゃん。」

花ちゃん 「そうだ、そうだ。オタマジャクシでした。写真（しゃしん）の下の2匹のオタマジャクシは、見たことあるような気がするけど・・・。」

オー君 「上の超（ちょう）でっかいのもオタマジャクシですか？」

モンタ博士 「そうだよ。オジャマジャクシ じゃなかった、オタマジャクシだよ。上の大きいのは、『ウシガエル』というカエルのオタマジャクシだよ。」

オー君 「それにしても大きいな。おいら初めて見たな。だいたい8cmくらいあるよ。」

モンタ博士 「これは小さいほうだよ。10cmくらいのも見たことあるよ。」

花ちゃん 「モンタ博士、下のオタマジャクシは何というカエルですか？」

モンタ博士「左がアズマヒキガエル。右がヤマアカガエルだよ。モンタ博士のおうちの
ちかくには、いっぱいいるカエルなんだよ。」

オー君 「ウシガエルって初（はじ）めて聞（き）く名前だな。オタマジャクシがこ
んなに大きいのだから、カエルも大きいということですね。」

モンタ博士「そうだね。日本で一番（いちばん）大きいカエルさ。モンタ博士も採（と）
ったことあるけど、それはそれは大きかったね。でも、もともと日本のカエ
ルではないんだよ。外国（がいこく）からもってきたカエルなんだよ。」

花ちゃん 「外国からもってきたカエル？どういことですか？」

モンタ博士「それは、人間が食べるためさ。食用（しょくよう）ガエルということさ。そ
れが、今にげ出して、あちこちにいるというわけさ。」

オー君 「ふーん。そうなんだ。」

モンタ博士「そして、さらに、みんながよく知っているザリガニ
（正しくはアメリカザリガニ）は、このウシガエ
ルのえさとしてもちこまれたものなんだよ。」

花ちゃん 「え！それじゃ、このウシガエルというのは、あの
ザリガニをばりばりと食べちゃうの。」

モンタ博士「だから、どのくらい大きいかわかるだろう。」

オー君 「たいした、たまげた！」

モンタ博士「でもね、世界にはもっと大きい
カエルがいるんだ。ほんとうに
びっくりびっくりカエルだ。」

